

次期山形県男女共同参画計画（素案）の概要について

■ 計画策定の趣旨：

社会情勢の変化に対応しながら持続可能で活力ある山形県を維持していくため、性別や年齢にかかわらず、その個性や能力を十分に発揮し、**誰もが暮らしやすい多様な幸せ（well-being）の実現につながるよう**、男女共同参画、女性活躍、DV等暴力の根絶及び困難を抱える女性の支援を推進する指針を定めるもの。

■ 計画の位置づけ：

男女共同参画社会基本法、山形県男女共同参画推進条例に基づく都道府県計画
女性活躍推進法に基づく都道府県推進計画

統合 DV防止法に基づく都道府県基本計画
困難女性支援法に基づく都道府県基本計画

■ 計画期間：

令和8年度
～令和12年度

現 状

■根強く残る固定的な性別役割分担意識

◎「夫は働き、妻は家庭を守るのが良い」という考え方に『反対』との回答は約6割にとどまる。

◎地方出身の若い世代は、出身地域に「食事の準備やお茶出しは女性の仕事」等といった固定的な性別役割分担意識が「あった」と感じている割合が高い。

■賃金や管理職登用等において縮まらない男女間格差

◎男性の育児休業取得率は伸びている。女性の管理職割合は微増で推移しており、男女間賃金格差は縮まっていない。

◎企業における課題として、「管理職になることに意欲的な女性従業員が少ない」との回答割合が高い。

◎若年女性の県内定着のためには「県内企業の賃金向上や処遇改善」「子育てしやすい環境の整備」が必要との回答割合が高い。

■政策・方針決定過程への女性参画の遅れ

◎女性の意見の反映度は、「政治」「防災・災害対応」「県や市町村の施策」の分野が低い。

反映されていない理由は、「自治会長や組合団体、地域組織リーダーに女性が少ない」との回答割合が最も高い。

■家事・育児負担の女性への偏り

◎共働き世帯が多く、女性の社会進出は進んでいる一方、家事・育児の負担は女性に偏っている。

◎女性が働き続けるためには、「柔軟な働き方の整備（短時間勤務制度、フレックスタイム、テレワークなど）」「男性の家事・育児・介護等への参画、家族の理解と協力」が求められている。

■潜在化するDV被害

◎DVの認知度は79.5%と高い。一方、DVを受けた時の相談先として「どこ（だれ）にも相談しなかった」との回答割合は前回調査（R1：24.7%）より増加し、36.4%。

踏まえるべき社会情勢

■急速な人口減少、若年女性の県外流出

・地域活力の維持、暮らしの質の向上のためには、女性をはじめ多様な人々が地域において活躍していくことが不可欠。

・地方創生の観点から「若者や女性にも選ばれる地方」に向けた取組みが急務。

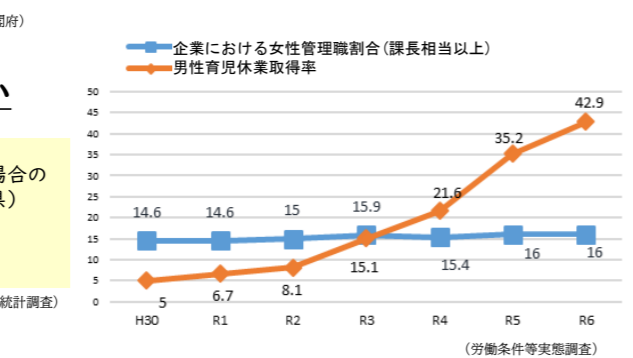
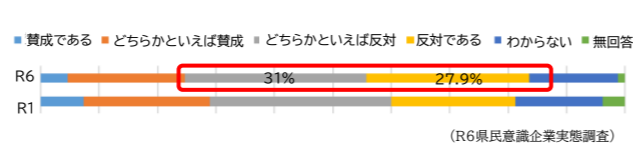
■頻発する大規模災害

・近年頻発する大規模災害に備え、防災分野に男女共同参画の視点を取り入れることが、災害に強い地域づくりに向けて一層重要。

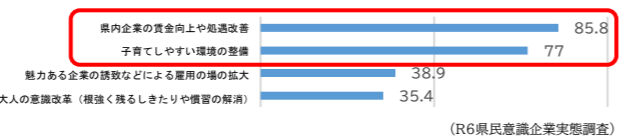
■複雑化・複合化する課題

・女性をめぐる課題が生活困窮、性暴力・性犯罪被害、家族関係破綻など複雑化かつ複合化。民間団体等との協働によるきめ細かな支援が必要。

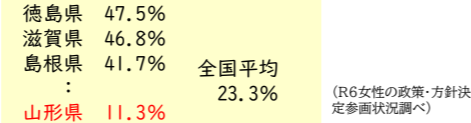
【「夫は働き、妻は家庭を守るのが良い」という考え方】



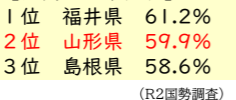
【若年女性の県内定着に必要な取組み／女性18～39歳】



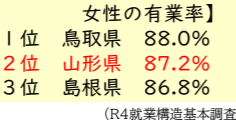
【防災会議に占める女性の割合】



【共働き世帯割合】



【育児をしている女性の有業率】



【1日あたりの平均所要時間/仕事のある日】



課 題

意識改革の強化

- ・地域に根強く残る固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスの解消
- ・若年女性等の定着・回帰に向けたニーズの把握と意見の反映
- ・あらゆる世代が男女共同参画について学ぶ機会の充実
- ・地域や組織のリーダー層と女性自身の意識改革
- ・県男女共同参画センター「チェリア」と様々な主体との連携や協働

環境の整備や働き方の見直し

- ・政策・方針決定過程への女性をはじめ多様な意見の反映
- ・キャリア支援のための研修機会の充実やロールモデルの提示
- ・女性の所得向上・経済的自立に向けた男女間の地位や職種、賃金等の格差解消
- ・長時間労働等の従来からの労働慣行の見直し
- ・ライフイベント等の希望に応じて安心して働き続けられる体制の整備

暮らしの安全・安心の確保

- ・DV被害者の相談体制の充実、相談窓口等の周知啓発
- ・困難な問題を抱える女性のニーズに応じた切れ目のない包括的な支援
- ・性の多様性への一層の理解促進及び性的マイノリティが抱える不安等の軽減
- ・防災会議や避難所運営等、防災・災害復興への女性の意見やニーズの反映

次期計画の施策展開の方向性

※赤字：重点的に取り組む施策

柱	施策の方向	主な施策
基本の柱Ⅰ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の強化		
1	多様な生き方・価値観を尊重する意識の向上	① 固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスの解消に向けた取組みの強化 ②女性や若者の意見を広く聴く機会の創出 ③多様な生き方や暮らし方の実現に向けた取組みの推進
2	男女共同参画の視点に立った学びの推進	① 若い世代が互いを尊重し合い、主体的に生きていくための能力を身につける教育・学習の推進 ②あらゆる機会を活用した男女共同参画の理解を促す研修等の充実 ③男女共同参画に関する調査・研究及び情報収集・提供の推進
女性活躍推進計画		
3	生活の場(家庭・地域)における男女共同参画の推進	① 「共働き・共育て」等の実現に向けた取組みの推進 ②多様な選択を可能とする子育て・介護支援対策の充実 ③暮らしやすい地域づくりに向けた多様な人材の参画促進
基本の柱Ⅱ あらゆる分野において一人一人が活躍できる環境づくり		
4	政策・方針決定過程における女性の参画拡大	① 管理職・役員等への女性の登用促進 ②政治分野における女性の参画促進 ③審議会等委員への女性の参画促進 ④女性の意識改革や人材の育成、キャリア形成支援、ネットワークの形成促進
5	働く場における男女共同参画の推進	① 女性の活躍を実現する職場風土の醸成 ②待遇改善や賃金向上による男女間格差の是正 ③柔軟で多様な働き方の導入の促進 ④女性の就業支援やスキル・キャリアアップの支援の充実 ⑤仕事と健康課題の両立の支援 ⑥ハラスメント防止対策の促進
6	様々な分野における男女共同参画の推進	① 農林水産業等における女性の参画拡大 ②科学技術・学術分野等における女性の参画拡大 ③女性の起業に対する支援
基本の柱Ⅲ 個人の尊厳が守られ、安全・安心に暮らせる社会づくり		
DV被害者支援計画		①DV等暴力防止の普及啓発の推進 ② DV等被害者の相談環境・保護体制・自立支援の充実 ③性犯罪・性暴力等への対策の推進
7	あらゆる暴力の根絶	
困難女性支援計画		① 困難な問題を抱える女性等への支援の充実 ②ひとり親家庭への相談体制と生活・就労支援の充実 ③性の多様性に対する理解促進や困難な状況にある人への支援
8	様々な困難を抱える人に対する支援や多様性の尊重	
9	男女共同参画の視点に立った防災対策の推進	① 防災・災害復興時における意思決定過程への女性の参画拡大 ②男女共同参画の視点に立った防災の取組強化
10	生涯を通じた健康支援	① リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）の視点に立った知識の普及や保健医療対策の充実 ②ライフステージに応じた健康の保持増進

目指す姿

多様な生き方や働き方で誰もが自分らしく輝ける山形県

